

2023年度環境活動レポート

発行日2024年6月24日

活動期間2023年1月1日～2023年12月31日



株式会社 高橋合金



快適で豊かな未来のために。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



私たちは、SDGs (持続可能な開発目標) の達成に貢献します。

目次

- 1.EMSの適用範囲
- 2.事業活動の概要とフロー
- 3.環境方針と登録証
- 4.CSR推進体制図と委員会組織図
- 5.環境目標と実績
- 6.活動計画と実績評価
- 7.環境法令と順守評価
- 8.マネジメントレビューの記録



1.EMS（環境マネジメントシステム）の適用範囲

会社名

株式会社高橋合金

事業所（サイト）

本社工場

茨城県守谷市百合丘1丁目2418-12

並木工場

茨城県守谷市百合丘1丁目2388-1

事業内容

使用済みはんだの精錬並びにはんだに関わる産業廃棄物の収集運搬及び処分

働く人々

経営層、全従業員（派遣社員、パート含む）



2.事業活動の概要とフロー

1.代表者及び環境管理責任者

代表者名 高橋 孝造

環境管理責任者 五十嵐 裕貴

連絡先 0 2 9 7 - 4 8 - 4 3 4 4

2.事業規模

2023年度 売上高 689百万円

従業員 29人

床面積 3,156㎡

敷地面積 4,125㎡

3.会社概要

創業 昭和48年7月

法人設立 昭和63年3月

資本金 1,000万円

ISO14001認定取得 2021年8月7日

4.営業目的

I.はんだの精錬及び販売

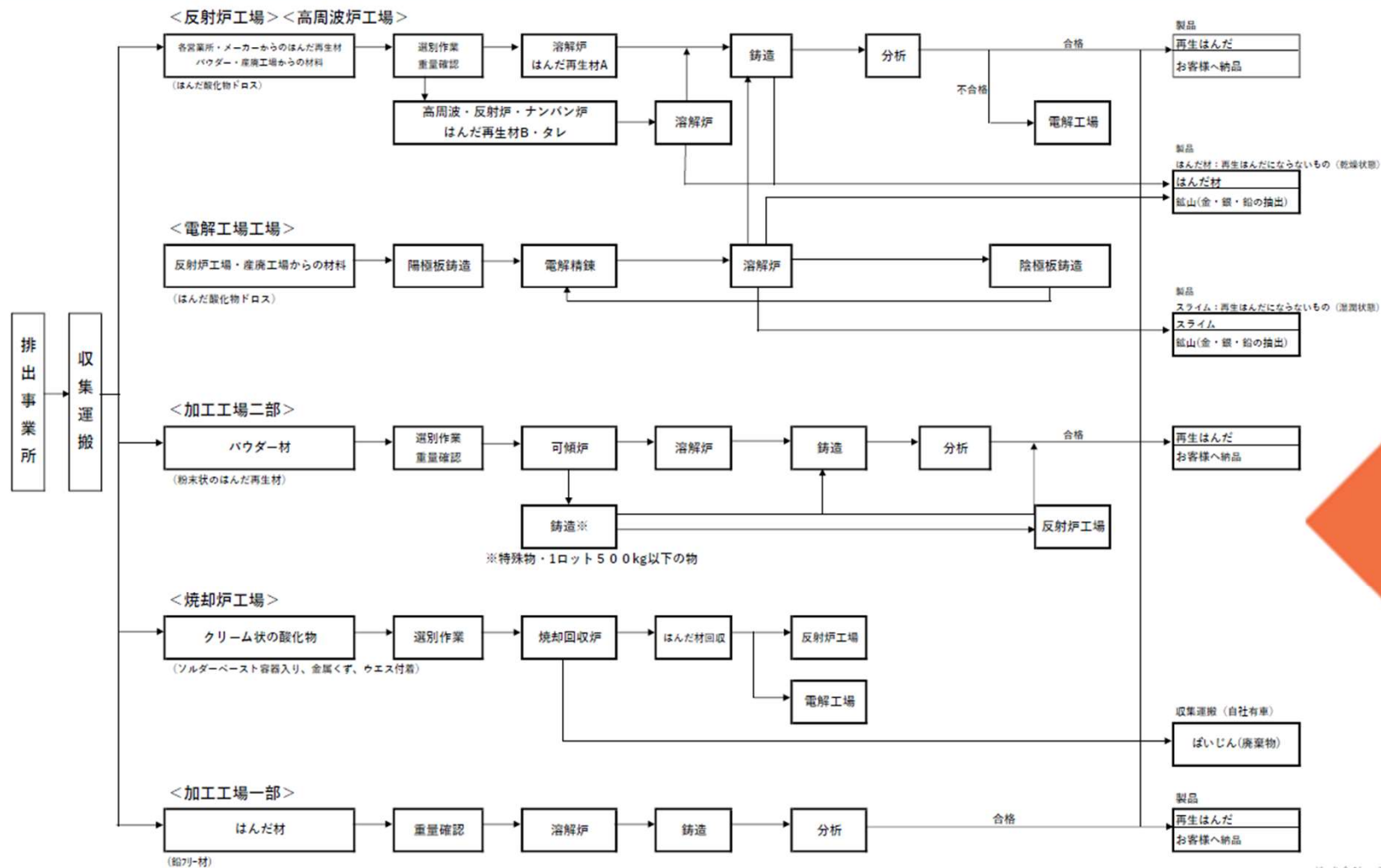
II.産業廃棄物処理業

III.産業廃棄物の収集、運搬業

IV.前各号に附帯する一切の業務



2.事業活動の概要とフロー



株式会社 高橋合金



3.環境方針と登録証

環境方針

【環境理念】

当社は、地球環境保全が人類共通の重要な使命であることを認識します。
私たちは、この使命のもとに循環型経済社会の形成に寄与すべく、自然と事業活動との
調和を図り、子々孫々に豊かな地球を残すことに全力を尽くします。

【基本方針】

1. 使用済みはんだの精錬等によるリサイクルに努める。
2. 事業活動における課題と機会に取組みまた、利害関係者のニーズ・期待に応えてまいります。
3. 環境汚染を予防し、環境影響の緩和と環境マネジメントシステムの継続的改善に努めてまいります。
4. 環境関連法規制を順守すると共に、必要に応じて定める自主管理基準の達成をめざします。また、地域との環境に関する協定等の約束事項を順守します。
5. 環境教育により全従業員の環境保全への自覚を促し意識を高め、全員参加の環境保全活動に努める。
6. 地域社会とのコミュニケーションを図り、人と自然にやさしい町づくりに協力していきます。
7. 環境方針は、自社ホームページに掲載し、利害関係者が入手可能な状態にします。

2021年 1月 1日
株式会社 高橋合金
社長 高橋 孝造



登録証 写

株式会社高橋合金

茨城県守谷市百合ヶ丘 1 丁目 2418 番地 12

貴組織の環境マネジメントシステムは、
当社による審査の結果、下記登録範囲において
JIS Q 14001:2015/ISO 14001:2015の要求事項に
適合していることを確認し、登録したことを証します。

登録範囲：使用済みはんだの精錬、並びにはんだに関わる産業廃
棄物の収集運搬及び処分

登録番号：E0259

初回登録日：2021年 8月 7日

登録日：2021年 8月 7日

有効期限：2024年 8月 6日

登録証発行日：2021年 8月 7日

発行番号：1

備考：—



AUDIX Registrars 株式会社
東京都中野区新井一丁目6番2号

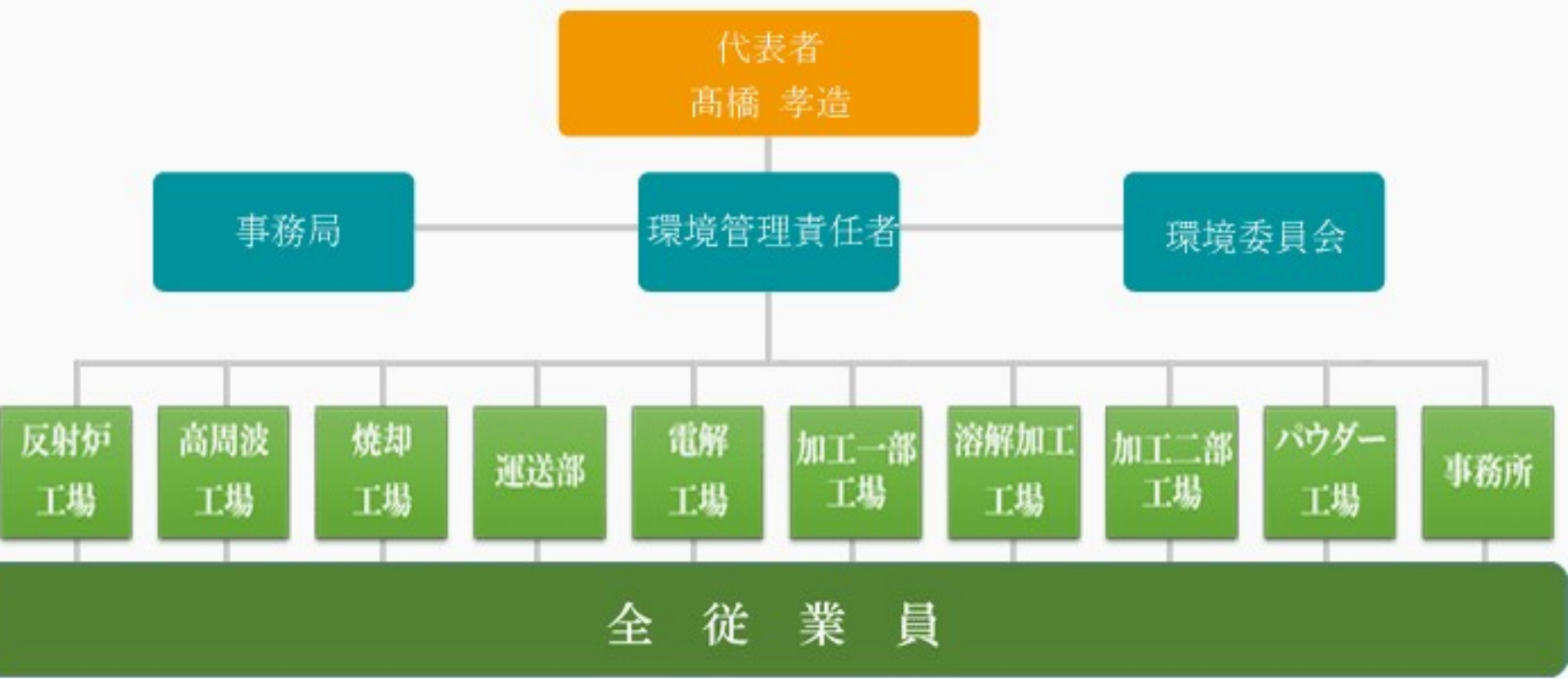
代表取締役社長 齋藤 喜孝
齋藤 喜孝

本証には登録付属書がありますので併せてご覧ください。

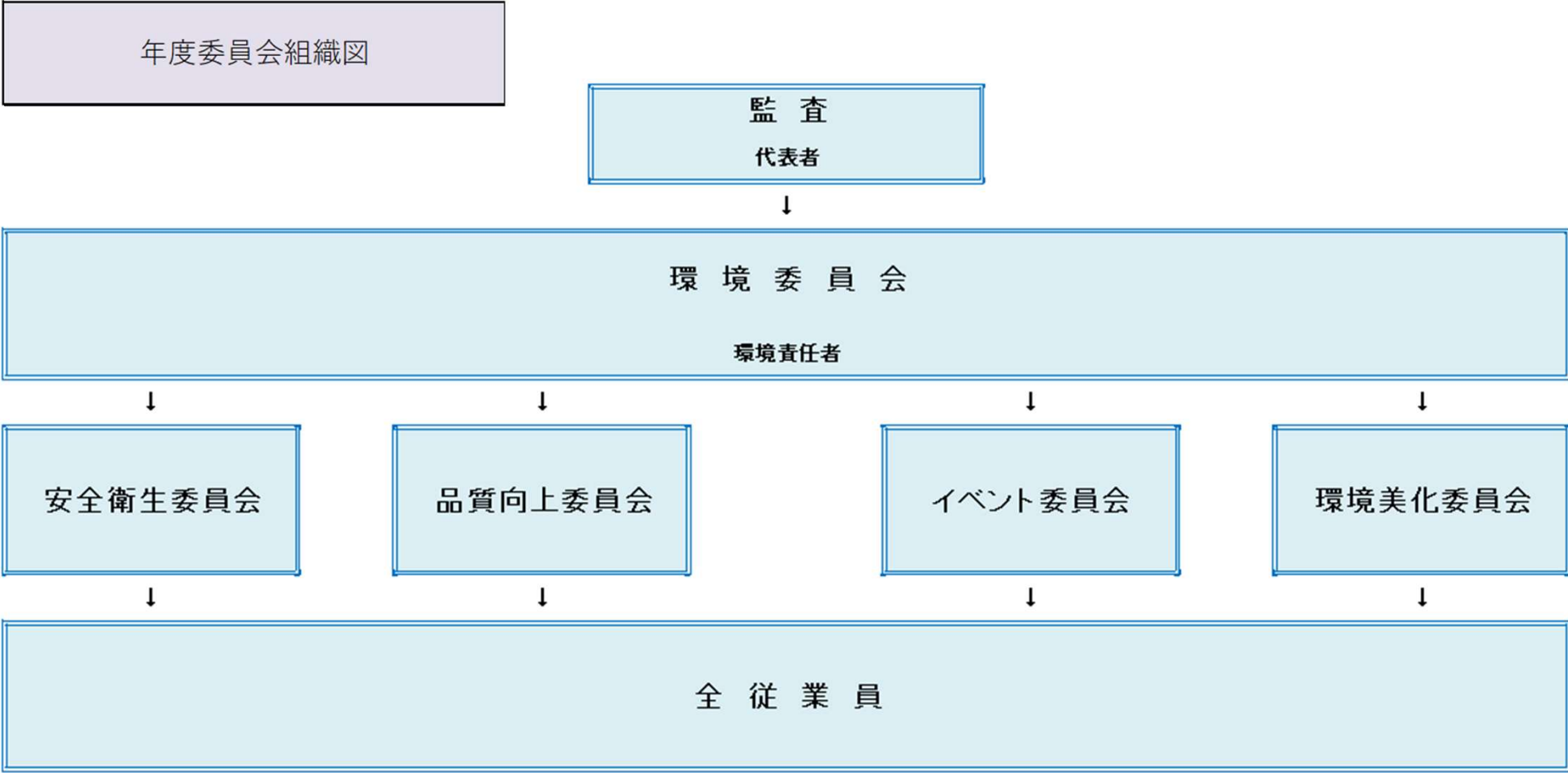


4 .CSR推進体制図と委員会組織図

CSR推進体制図



4.CSR推進体制図と委員会組織図



5.環境目標と実績

全社環境目標中期計画（第Ⅲ期）

NO	項 目			目 標 値					
	目 標	基準年度	単 位	2021年度 (21年1月～12月)		2022年度 (22年1月～12月)		2023年度 (23年1月～12月)	
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
1	電気を使用した精錬量の向上 (本社工場/生産量原単位)	参考値(年間) 2020年度 生産量 2,091,804kg/使用 量573,449kwh	KWh 3.64kg/1 kwh	5%向上 3.82kg	達成率73% 2.79kg	2.80kg/ 1kwh	達成率93% 2.59kg	2.80kg	達成率 103% 2.90kg
2	電気使用した精錬量の向上 (並木工場/生産量原単位)	参考値(年間) 2020年度 生産量 1,538,290kg/使用 量378,891kwh	KWh 4.05kg/1 kwh	5%向上 4.25kg	達成率 139%5.92 kg	5.4kg/1 kwh	達成率 112%6.03 kg	5.4kg	達成率 108% 5.81kg
3	軽油使用量の削減 (走行距離単位)	参考値(年間) 2020年度 走行距離 123,968km/使用量 34,669L	L 3.58km/1 L	5%削減 3.76km	達成率 104%3.91 km	5%削減 3.76km	達成率 101%3.82 km	5%削減 3.76km	達成率 102% 3.82km
4	LPGを使用した精錬量の向上 (本社工場/生産量原単位)	参考値(年間) 2022年度 生産量 1521024.58kg/使 用量99022kg	kg 15.36kg/ 1kg	5%向上 22.95kg	達成率 100%22.85 kg	5%向上 22.95kg	達成率 101%23.26 kg	5%向上 16.13kg	達成率 103% 15.79kg
5	LPGを使用した精錬量の向上 (並木工場/生産量原単位)	参考値(年間) 2022年度 生産量 2513623.3kg/使用 量74405kg	kg 33.78kg/ 1kg	5%向上 22.95kg	達成率 100%22.85 kg	5%向上 22.95kg	達成率 101%23.26 kg	5%向上 35.47kg	達成率 100% 35.52kg
6	重油を使用した精錬量の向上 (生産量原単位)	参考値(年間) 2020年度 生産量 97,399kg/使用量 99,180L	L 0.98kg/1 L	5%向上 1.03kg	達成率 104%1.23 kg	5%向上 1.03kg	達成率 118%1.16 kg	5%向上 1.03kg	達成率65% 0.67kg
7	精錬量に対する二酸化炭素排 出量(生産量原単位)	参考値(年間) 2020年度生産量 3,630,094kg/排出 量804,890kg-Co2	kg-Co2 4.51kg/1 kg-Co2	5%削減 4.74kg	達成率74% 3.50kg	3.5kg/1 kg-Co2	達成率 102%3.59 kg	3.5kg/1 kg-Co2	達成率91% 3.18kg

* 来期より軽油の使用量については監視記録にすると環境委員会にて決定。

* 6 重油を使用した精錬量の向上、については来期より個数管理での計画及び目標を設定。

* 来期より新たに3年間の計画となる。参考値とする年度は2023年とし環境委員会で決定。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 電気を使用した精錬量の向上（本社工場 /生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/KWh)	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80	2.80
単月生産量実績 (kg)	113,959	144,610	156,123	118,818	104,734	143,831	139,892	123,179	161,457	168,410	147,813	132,178
累計生産量実績 (kg)	113,959	258,569	414,692	533,511	638,245	782,076	921,967	1,045,147	1,206,604	1,375,014	1,522,827	1,655,005
単月電気使用量 (KWh)	41,381	45,420	58,132	44,584	41,946	50,564	51,287	45,632	50,357	46,372	47,845	47,727
累計電気使用量 (KWh)	41,381	86,801	144,933	189,517	231,463	282,027	333,314	378,946	429,303	475,675	523,520	571,247
累計生産量原単位 (kg/KWh)	2.75	2.98	2.86	2.82	2.76	2.77	2.77	2.76	2.81	2.89	2.91	2.90
累計達成率 (%)	98	106	102	101	98	99	99	99	100	103	104	103

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
工場の照明の小まめな消灯	計画 実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コンプレッサーの定期的なエア漏れチェック	計画 実績		▼チェック			▼チェック			▼チェック			▼チェック
高周波工場の生産性を考慮した精錬計画	計画 実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
署名	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林	小林

3. 評価及び実施記録

月 日	任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	生産量が上がったこともあり目標は達成できている。これを継続し続けられるように取り組んでいきます。
第2四半期 実績と評価	毎月の生産量の浮き沈みが激しく安定していないのが目立つのでしっかりと精錬スケジュールを組み立てて目標を達成できるようにしていきます。
第3四半期 実績と評価	生産量の増加に伴い目標値に到達しました。継続し達成できるように生産計画を組んでいきます。
第4四半期 実績と評価	精錬する材料の優先順位を明確にした事で精錬スケジュールが計画しやすくなり結果的に達成率につながっていききました。月々の材料の入荷にもよるが、その都度対応できるように体制を整えていきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 電気を使用した精錬量の向上（並木工場 /生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/KWh)	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40	5.40
単月生産量実績 (kg)	153,177	185,127	236,954	186,776	159,112	222,674	243,827	203,641	228,792	260,471	220,587	267,953
累計生産量実績 (kg)	153,177	338,304	575,257	762,034	921,145	1,143,819	1,387,646	1,591,287	1,820,078	2,080,549	2,301,136	2,569,089
単月電気使用量 (KWh)	33,342	37,870	36,536	40,571	34,252	35,930	35,009	41,854	41,651	38,845	38,099	28,481
累計電気使用量 (KWh)	33,342	71,212	107,748	148,319	182,571	218,501	253,510	295,364	337,015	375,860	413,959	442,440
累計生産量原単位 (kg/KWh)	4.59	4.75	5.34	5.14	5.05	5.23	5.47	5.39	5.40	5.54	5.56	5.81
累計達成率 (%)	85	88	99	95	93	97	101	100	100	103	103	108

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
工場の照明の小まめな消灯	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
コンプレッサーの定期的なエア漏れチェック	計画		▼チェック			▼チェック			▼チェック			▼チェック
	実績		▲			▲			▲			▲
電解工場の生産性を考慮した精錬計画	計画	→										
	実績	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
署名	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田	本田

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	生産量実績、達成率共に上がり、順調に節電の取り組みが行われてます。引き続き継続していきます。
第2四半期 実績と評価	第1四半期に比べ達成率90%以上をキープしています。これから夏を迎え電気使用量が増える事を見越して電気使用量をできるだけ削減できるように呼びかけていきます。
第3四半期 実績と評価	100%を達成しており、引き続き電気使用量削減に呼び掛けていきます。
第4四半期 実績と評価	生産量実績、達成率共に上がり、節電の取り組みが行われてます。引き続き継続していきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 軽油使用量の削減（走行距離単位）

1. 目標値及び実績値

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (km/L)	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76	3.76
単月走行距離実績 (km)	9,849	12,489	11,317	13,934	9,570	11,992	9,656	13,274	10,643	12,057	9,639	13,789
累計走行距離実績 (km)	9,849	22,338	33,655	47,589	57,159	69,151	78,807	92,081	102,724	114,781	124,420	138,209
単月給油実績量 (L)	2,585	3,592	2,139	4,065	2,529	3,135	2,725	3,480	2,822	2,943	2,686	3,449
累計給油実績量 (L)	2,585	6,177	8,316	12,381	14,910	18,045	20,770	24,250	27,072	30,014	32,700	36,149
累計実績値 (km/L)	3.81	3.62	4.05	3.84	3.83	3.83	3.79	3.80	3.79	3.82	3.80	3.82
累計達成率 (%)	101	96	108	102	102	102	101	101	101	102	101	102

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
エコドライブの更なる徹底	計画											
	実績											
アイドリングストップの促進	計画											
	実績											
署名	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原	海老原

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	今回は目標値に到達致しましたが、これからもアイドリングストップの実施をしていきます。
第2四半期 実績と評価	今回も目標値に到達致しましたが、引き続きアイドリングストップの実施をしていきます。
第3四半期 実績と評価	今回も目標値に到達致しましたが、これからもアイドリングストップの実施をしていきます。
第4四半期 実績と評価	今期目標達成することができました。引き続きアイドリングストップを実施し燃費の向上に努めていきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 LPGを使用した精錬量の向上（本社工場/生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

*LPGを使用する工場は反射炉工場のみ

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/kg)	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36	15.36
単月生産量実績 (kg)	113,959	144,610	156,123	118,818	104,734	143,831	139,892	123,179	161,457	168,410	147,813	132,178
累計生産量実績 (kg)	113,959	258,569	414,692	533,511	638,245	782,076	921,967	1,045,147	1,206,604	1,375,014	1,522,827	1,655,005
単月LPG使用量 (kg)	7,905	9,044	11,361	8,054	6,580	10,600	7,640	7,905	10,678	9,381	9,113	6,522
累計LPG使用量 (kg)	7,905	16,949	28,310	36,364	42,944	53,544	61,184	69,089	79,767	89,148	98,261	104,783
累計実績値 (kg/kg)	14.42	15.26	14.65	14.67	14.86	14.61	15.07	15.13	15.13	15.42	15.50	15.79
累計達成率 (%)	94	99	95	96	97	95	98	98	98	100	101	103

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
効率的な良い処理計画	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表
	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲
	計画											
	実績											
	計画											
	実績											
署名	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷	深谷

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	通常勤務ではなくスライド勤務をしたため達成率が下がりましたが、改善できる点がないか今後探っていきます。
第2四半期 実績と評価	今後も改善点がないか探っていきます。
第3四半期 実績と評価	達成率が横ばいの状態が続いていますので再度改善点がないか探っていきます。
第4四半期 実績と評価	スライド出勤を減らし生産性が向上したことで目標値を達成することができました。今後も生産計画の確認を徹底していきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 LPGを使用した精錬量の向上（並木工場/生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

*LPGを使用する工場は加工一部、加工二部、パウダー工場、電解工場

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/kg)	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47	35.47
単月生産量実績 (kg)	153,177	185,127	236,954	186,776	159,112	222,674	243,827	203,641	228,792	260,471	220,587	267,953
累計生産量実績 (kg)	153,177	338,304	575,257	762,034	921,145	1,143,819	1,387,646	1,591,287	1,820,078	2,080,549	2,301,136	2,569,089
単月LPG使用量 (kg)	4,425	6,160	7,141	5,425	4,921	6,396	5,930	6,157	5,936	6,724	5,958	7,150
累計LPG使用量 (kg)	4,425	10,585	17,726	23,151	28,072	34,468	40,398	46,555	52,491	59,215	65,173	72,323
累計実績値 (kg/kg)	34.62	31.96	32.45	32.92	32.81	33.18	34.35	34.18	34.67	35.14	35.31	35.52
累計達成率 (%)	98	90	91	93	93	94	97	96	98	99	100	100

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
効率的な良い処理計画	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表	計画 ▽処理計画 発表
	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲
	計画											
	実績											
	計画											
	実績											
署名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名	推名

3. 評価及び実施記録

月 日	表任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取り組みの実績
第1四半期 実績と評価	2.3月と目標値を大きく下回ってしまいました。理由としてはスライド出勤による少ない人数での作業となり1時間あたりの生産性が低下した事だと思います。
第2四半期 実績と評価	4.5.6月と少しでも生産性の向上に努め目標達成できるよう努めてまいります。
第3四半期 実績と評価	生産量が減った分スライド出勤が少なくなり、また、作業人数も多くなったことでLPGの削減には繋がったのですが4月5月と加工依頼が少なく生産量は落ち込んでしまいました。7月から少ないLPGの使用で多く生産できるように、無駄なLPG使用に注視し削減に努めていきます。
第4四半期 実績と評価	スライド出勤を減らし残業と休日出勤で対応することにより多人数での作業が見受けられました。よって生産性が上がりLPGの使用量を削減することが出来ました。100%到達を目指し無駄な使用が無いか注視していきます。
第4四半期 実績と評価	複数人で作業することで生産性が上がり目標を達成することができました。これからも各工場に無駄がないか注視し100%達成を維持していきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 重油を使用した精錬量の向上（生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

*LSA重油を使用するのは焼却炉工場のみ

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値(kg/ℓ)	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03	1.03
単月生産量実績(kg)	688	0	1,769	647	1,537	4,816	5,794	4,779	9,898	7,274	5,692	5,013
累計生産量実績(kg)	688	688	2,457	3,103	4,640	9,457	15,251	20,030	29,928	37,202	42,894	47,907
単月重油使用量(ℓ)	1,650	940	3,060	4,730	4,440	6,970	7,979	7,630	10,380	8,110	7,460	8,390
累計重油使用量(ℓ)	1,650	2,590	5,650	10,380	14,820	21,790	29,769	37,399	47,779	55,889	63,349	71,739
累計実績値(kg/ℓ)	0.42	0.27	0.43	0.30	0.31	0.43	0.51	0.54	0.63	0.67	0.68	0.67
累計達成率(%)	40	26	42	29	30	42	50	52	61	65	66	65

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
効率的な良い処理計画	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表	計画 発表
	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲	実績 ▲
	計画											
	実績											
署名	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田	中田

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	設備の故障と重量の少ない材料を主に精錬したため、目標を達成できませんでした。
第2四半期 実績と評価	重量の少ない材料でも重油の使用量は変わらないので、来期から生産量ではなく総個数で管理していくことを視野に重量のみならず個数を記録していきます。
第3四半期 実績と評価	重量の多い材料と空容器の精錬のため目標を達成できませんでした。
第4四半期 実績と評価	設備の故障に加え空容器の精錬が多く目標を達成できませんでした。来期は目標値を含めた運用の見直し実施していきます。



6.活動計画と実績評価

2023年度 目標管理実施計画 二酸化炭素排出量の削減（生産量原単位）

1. 目標値及び実績値

	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
累計目標値 (kg/kg - CO2)	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50	3.50
単月生産量実績 (kg)	267,136	329,737	393,077	305,595	263,845	366,504	383,719	325,805	390,249	428,881	368,399	400,131
累計生産量実績 (kg)	267,136	596,873	989,950	1,295,545	1,559,390	1,925,895	2,309,614	2,635,419	3,025,668	3,454,548	3,822,947	4,223,079
単月二酸化炭素排出量 (kg - CO2)	86,587	99,846	116,974	106,037	90,970	121,135	112,267	115,553	130,760	120,221	116,202	111,261
累計二酸化炭素排出量 (kg - CO2)	86,587	186,433	303,407	409,444	500,414	621,549	733,816	849,369	980,129	1,100,350	1,216,552	1,327,813
累計実績値 (kg/kg - CO2)	3.09	3.20	3.26	3.16	3.12	3.10	3.15	3.10	3.09	3.14	3.14	3.18
累計達成率 (%)	88	91	93	90	89	89	90	89	88	90	90	91

2. 目標達成手段

手段	23/1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
軽油、重油、LPG、電気 の削減計画に基づく	計画											
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
効率の良い生産計画	計画											
	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
	計画											
署名	計画											
	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐	五十嵐

3. 評価及び実施記録

月 日	責任者コメント：四半期毎の確認・評価及び取組みの実績
第1四半期 実績と評価	精錬量が増加傾向にあり、スライド勤務にて稼働時間を増やしました。結果として全ての使用燃料が増加し目標値達成率93%となりました。燃料の浪費に注視していきます。
第2四半期 実績と評価	精錬量に大きな変化は見られませんが、精錬に時間を要する材料が増加傾向にありますので注視していきます。
第3四半期 実績と評価	工場単位で生産性を向上させるため9月に生産計画を指導しました。10月からの生産性と燃料の使用量に注視していきます。
第4四半期 実績と評価	今期累計達成率は91%となり未達成でした。原因は重油の影響と特定していますので、来期の目標を見直して運用していきます。



7.環境法令と順守評価

凡例 ○：順守している △：要調査 ×：要是正 ー：評価対象外

No	業務、作業又は施設など	適用法令・条例・協定等		評価項目（鍵となる要素）	評価結果	順守評価結果 ○△×ー
		法令名称	要求事項			2023.6/2
1	産業廃棄物収集運搬業及び処分業	廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬業及び処分業の許可	□許可証の期限（許可証および一覧表は別紙）	令和6年4月19日	○
			産業廃棄物収集運搬車表示（会社名、産業廃棄物収集運搬車、許可番号）	□事業範囲の変更（取扱う廃棄物の種類、収集運搬の範囲）	廃プラスチック・金属くず	○
			収集運搬車への書面備え付け（契約書の写し、マニフェストの携行）	□収集運搬車への表示の確認		○
			産業廃棄物処理実績報告書	□運用状況の確認		○
			自動車排ガスの抑制努力義務	□前年4月～今年3月までの処理実績	処理実績報告書	○
		自動車リサイクル法	車検又は廃車時におけるリサイクル料金の支払い	□車検の実施		○
2	産業廃棄物焼却炉	廃棄物処理法	施設設置時の許可（処理能力200kg/時間、火格子面積2㎡以上）	□廃棄した車の有無	今期、廃車にした車はありませんでした。	-
			施設の変更の許可	□届出、許可業者への委託		
			施設の維持管理（維持管理計画、技術上の基準）	□リサイクル料金の支払い有無		○
			技術管理者の設置	□許可証の有無	平成21年1月21日	
		ダイオキシン特別措置法	（1号機/2号機）火床面積0.37㎡（0.5㎡以上に該当しない）、焼却能力50kg/時間	□施設の変更の有無	変更なし	-
			大気排出基準 5ng-TEQ/m3	□廃棄物の受入れ量の計量データの確認	日常点検票にて確認	○
			自主基準 Nox150ml/m3N, Sox0.15m3N/h, ばいじん0.02g/m3N、鉛1.0mg/m3N未満、塩化水素200mg/m3Nの排出基準	□点検及び機能検査の記録確認（3年間保存）		○
		大気汚染防止法		□蚊、ハエ及び害虫が発生しない		
				□廃棄物の飛散、流出、地下浸透及び悪臭の防止		○
				□技術管理者の有無（証明証は別紙）	平成10年3月27日取得 認定番号044079	
		ダイオキシン特別措置法		□届出の確認	火床面積0.5㎡以下（0.37㎡）のため対象外	○
				□ダイオキシン年1回の測定	令和5年4月25日27日測定	
				□測定結果 1号機	0.0034ng-TEQ/m3	
		大気汚染防止法		□測定結果 2号機	0ng-TEQ/m3	○
				□年2回の測定の実施及び測定結果 1号機	令和5年10月20日測定 ばいじん 0.0014g/m3未満 Sox 0.0021m3/h Nox 60ppm 塩化水素 0.87mg/m3 鉛 0.03mg/m3	
				□年2回の測定の実施及び測定結果 2号機	令和5年11月1日測定 ばいじん 0.0025g/m3 Sox 0.011m3/h Nox 64ppm 塩化水素 1.4mg/m3 鉛 0.0014mg/m3	



7.環境法令と順守評価

3	Pb,Ni含むはんだの精錬	PRTR法	対象物質についての入荷量・排出量を把握し届け出る。	入荷量・排出量の申請4月1～6月30日迄に（TED3 9-1環境パフォーマンスデータにて記録する。）	2023年4月19日届出済み	○
4	工場全般の活動	顧客先からの要求事項	・Cdフリー ・環境上の法令の順守 ・棚卸1回実施の要求 ・業務記録の作成（ロット毎）	☐ 分析資料によるCd含有の確認 ☐ 定期的な大気測定 ☐ 棚卸1回実施と報告 ☐ 鑄造作業票による記録の作成		○
5	産業廃棄物の保管	廃棄物処理法	産業廃棄物保管基準に従う	☐ 周囲に囲い ☐ 掲示板（縦横60cm以上、廃棄物の種類、保管の高さ、保管場所の管理者の氏名又は名称及び連絡先）	並木工場加工一部に掲示	○
				☐ ねずみ、蚊、ハエ及び害虫が発生、生息しない	安全衛生委員会にて監視と評価	○
				☐ 廃棄物の飛散、流出、地下浸透及び悪臭の防止	安全衛生委員会にて監視と評価	○
				☐ 保管の高さ	安全衛生委員会にて監視と評価	○
				☐ 保管上限は1日の平均的搬出量×14		○
6	産業廃棄物の排出	廃棄物処理法	委託契約の締結	☐ 各委託又は受託に関する委託契約書の有無	有	○
				☐ 記載事項		○
				☐ 処理先の現地確認		○
			マニフェスト伝票の発行及び管理	☐ 廃棄物委託に関するマニフェスト伝票の発行		○
				☐ 90日以内又は180日以内にE票の送付を受けない時は、委託先の調査と都道府県への報告		○
				☐ マニフェスト不交付における産業廃棄物の引き受けの禁止		○
				☐ マニフェスト伝票の5年間の保管		○
			産業廃棄物管理票交付等状況報告書	☐ 前年4月～今年3月までの処理実績	管理票交付等状況報告書	-
			処理場への自社運搬	☐ 自社の車両により、車両両側面への表示		○
				☐ マニフェスト伝票の携行		○
				☐ 産業廃棄物を飛散させない		○



7.環境法令と順守評価

7	はんだの精錬	大気汚染防止法	ばい煙発生施設設置許可	☐ 設置設備の変更（ばい煙発生施設）	令和4年2月3日に構造等の変更 を受理	○
			高周波炉（自主基準） ばいじん0.02g/m ³ N、 鉛1.0mg/m ³ N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和5年10月19日測定 ばいじん 0.0010g/m ³ 未満 実 測値 鉛 0.00099mg/m ³ 未満	○
			反射炉A（自主基準） Nox150ml/m ³ N、 ばいじん0.02g/m ³ N、鉛1.0mg/m ² N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和5年10月19日測定 Nox28ppm未満 ばいじん 0.0028g/m ³ 実測値 鉛 0.0053mg/m ³	○
			反射炉B（自主基準） Nox150ml/m ³ N、 ばいじん0.02g/m ³ N、鉛1.0mg/m ³ N未満	☐ 年2回の測定の実施及び測定結果	令和5年10月19日測定 Nox81ppm ばいじん 0.0010g/m ³ 未満 実 測値 鉛 0.0098mg/m ³	○
8	収集運搬トラックの 走行	首都圏PM条例	対象者の車へのPM減少装置の取り付け	☐ PM減少装置の取り付け		○
		道路交通法	免許証、スピードなどの違反	☐ 免許証の保持 違反歴	運転免許証管理表にて記録	○
9	フォークリフトの使用	オフロード法	適合者の使用	☐ 適合証明		○
			平成18年4月施行前販売のものについては適合（適合 マークなし）しなくて良い	☐ 平成18年4月施行前販売証明 ☐ 1年前の期間における定期点検の実施		○ ○
						○
10	業務用エアコン（8 台、内要簡易点検2 台）エアコン圧縮機 （要簡易、有資格者 点検4台）の設置及 び使用	フロン排出抑制 法	エアコン及びエアコン圧縮機全ての冷媒漏えいに関す る簡易点検の実施併せて、エアコン圧縮機は年1回有資 格者による定期点検の実施	☐ 点検を実施したか。	型番4GA30065 型番4GA01627 型番4GA20750 型番4GA31827	○
			漏えい時の処置（修理）	☐ 漏えいは発生したか。		—
			廃棄時の処置（許可業者による回収と破壊）	☐ エアコンを廃棄したか		—



8.マネジメントレビューの記録

1, インプット情報(報告者:環境責任者)		環境責任者 五十嵐 2023.12/22
確認項目	状況と評価内容	
①前回までのレビュー結果に対する処置の状況	前回レビュー後も環境委員会にて実績を確認しつつ運用できています。	
②EMSに関わる組織内外の課題の変化の状況	組織の変化として6月より5-2-1委員会組織の運用を開始し、全員参加の課題への取組みに期待しています。	
③順守義務の変化の状況	6-3順守義務の内容に変更はありません。次年度より担当部署を設け、順守義務を自覚意識を高める狙いです。	
④組織の新しい環境側面並びに脅威及び機会に関するリスクの変化の状況	本社工場のリニューアルが完了し次年度より工場、部署単位で6-1環境側面、5-3業務分担を運用致します。4-1脅威、機会、リスクに変化はありません。	
⑤環境目標の達成度	6-5環境目標の6重油を使用した精錬量の向上、7精錬量に対する二酸化炭素排出量が未達の見通しです。その他項目は達成できる見通しです。	
⑥不適合及び是正処置、監視及び測定の結果、遵守義務への適合及び監査結果に対する傾向も含む環境パフォーマンス情報	不適合、是正処置はありませんでした。9月サーベイランス審査で改善の機会をいただき実施しました。測定結果に問題はありませんでした。9-1環境パフォーマンスは毎月記録しています。	
⑦外部利害関係者からのコミュニケーション	7-5外部コミュニケーション記録へ記録しています。	
⑧継続的改善の機会	4-1の取り組みとして引き続き生産性向上、QRコードの更なる運用に加え、SMIC入庫管理システムの確立を計画しております。	
⑨効果的なEMSを維持するために必要な資源の妥当性(十分さ)	効果的なEMSを維持できています。	

2, アウトプットの決定(代表者又は経営層)		社長 高橋 2023.12/25
アウトプットの考察事項	アウトプット事項(今年度の実施に対する評価及び次年度に向けて)	
①EMSの継続的な適切性、妥当性及び有効性に関する結論	ENSの運営に関して、適正であり有効である。今後も継続して運営していく。	
②継続的改善の機会に関係する決定	課題及び改善計画を策定し取り組んでいる。取り組みへの方向性も適切である。	
③EMSの変更の必要性、それには資金の必要性も含める。	EMSの変更は必要なし、資金についてはその都度決めていく。	
④必要な場合、環境目標未達成の処置	環境目標未達の項目に対しては、原因を調査し必要な対処をする。	
⑤当社の戦略的方向性に対する示唆	当社にとって、製品の品質向上及び環境への対策など重要であるのでEMSを有効に活用していく。	

